

3. ジオパークガイド資格者の試行的導入

3.1 モニターツアーの企画

3.1.1 モニターツアーの目的と方針

(1) 目的

ジオパークにおける効果的なジオツアーの方法とツアーガイドの役割を明らかにするため、福島県南東部のいわき市アンモナイトセンターおよび石炭化石館ほるる、茨城県北部の北茨城市五浦海岸を対象にモニターツアーを実施し、その結果を評価・検証する。特に、ジオツアーに参加する観光客（主に外国人）が、どのようなジオの資源や要素、組み合わせ、体験に感応するのかをモニターツアーを通じて分析するとともに、ツアーガイドに必要な知識、スキル、役割等について分析する。そして、ジオツアーに有効な資源、プログラムのポイント、ジオツアーガイドの資格制度のあり方などを検討する。

注：本企画は、福島県のジオサイトを含む常磐路ジオツアーであり、茨城県北ジオパーク構想でのジオツアーの評価とは全く関係ないものである。

3.1.2 モニターツアーの企画

(1) 開催概要

開催日：平成 23 年 1 月 29 日（土）～平成 23 年 1 月 30 日（日）の 1 泊 2 日

場所：福島県南東部～茨城県北部

参加者：モニター 9 人、その他関係者 19 人、合計 28 人

企画名：琥珀とアンモナイトを求めてジオロジストと行く“ときわ路・ジオツアー”

移動手段：大型バス（バスガイド付き）

工程：下記旅程表（モデルコース）参照

地図：下記ときわ路 GUIDE MAP 参照

(2) 作業仮説

- a) 観光客は地域のジオツアーに潜在ニーズを持つ
- b) 観光客は“ここにしかないジオ”の要素に関心を示す
- c) 観光客の関心は多様で、ジオにも多様な関心を示す
- d) 観光客はジオと自然・風土の組み合わせに関心を示す
- e) ガイドはジオ資源に対する関心を高め、理解を促す

3.1.3 評価・検証項目とその方法

①アンケート（単純集計、クロス集計、自由記述の分析など）

②モニターの行動・反応観察（各サイトへの反応、質疑応答の状況、メモや撮影の頻度など）



ご旅程表〔モデルコース〕

JTB 首都圏池袋支店

琥珀とアンモナイトを求めて ジオロジストと行く“ときわ路・ジオツアー”

| | |
|-------|-------------|
| 支店長 | 門田見岳史 |
| 取扱管理者 | 村井秀彰 |
| 担当者 | 古澤明 |
| 作成日 | 2010年10月22日 |

ご旅行先 五浦温泉 方面 ご参加人数 20名様

旅行期間 2011年1月29日(土)～2011年1月30日(日) 1泊2日 (旅館・ホテル1泊、船・車中泊)

| 日次 | 月日(曜) | 行程 |
|--|-------------|---|
| 1 | 1/29 (土) | <p>11:00 頃 水戸駅 …… 水戸 I.C …… いわき四倉 I.C …… 車中お弁当</p> <p>15:00 頃 …… いわき市アンモナイトセンター【ご見学】…… 13:00 頃</p> <p>17:00 頃 …… いわき市石炭・化石館 ～ほるる～【ご見学】…… 旅館 15:50 頃 17:40 頃</p> <p>《宿泊地:五浦温泉・平潟温泉》</p> |
| 2 | 1/30 (土) | <p>09:00 頃 旅館 …… 天心記念館／六角堂【ご見学】…… 五浦岬公園【ご散策】…… 09:10 頃</p> <p>11:00 頃 11:40 頃 …… 天心記念五浦美術【ご見学】…… 勿来の関【ご散策】…… 11:15 頃</p> <p>[常磐道] …… いわき勿来 I.C …… 日立南 I.C …… 水戸駅 車内にて軽食 13:00 頃</p> <p>お疲れ様でした…</p> |
| <p>《宿泊のご案内》 五浦温泉 『五浦観光ホテル 別館 大観荘』 1泊2食/2名1室利用 ☎0293-46-1111 平潟温泉 『篠はら 別館』 1泊2食/2名1室利用 ☎0293-46-1231</p> <p>《昼食のご案内》 1日目：車中お弁当 2日目：車中軽食</p> <p>《ご確認事項》 以下は、自己負担となります。 宿泊ホテル内の経費 ・夕食時の飲物 ・部屋の冷蔵庫の飲み物等 ・電話代 等</p> | | |



3.2 モニターツアーの評価・検証

3.2.1 モニターの行動と反応

①いわき市アンモナイトセンター

- ・実物のアンモナイト化石の存在,大きさに一同が驚嘆し,写真撮影をする姿がみられた。
- ・白亜紀の含アンモナイト層をまるごと建物で覆った産出展示に関心が高かった。
- ・中国人女性は,中国の自貢ジオパークの博物館と似ていることを聞きさらに関心を高め,また,今度は子供を連れて来たいと言っていた。
- ・韓国人の子供は「石」に興味があるらしく,アンモナイトや化石に非常に興奮しており,親がその子供の行動をアシストして見学していた。
- ・フランス人とインド人の女性は友人のようであり,フランス人が火山等の専門家であるため,主婦のインド人女性に解説しながら館内をじっくりと観察していた。
- ・館内にあるズームアップカメラで化石がある斜面周辺を観察する姿や,記念写真を行う姿も見られた。
- ・化石発掘に関する解説は,日本人対象で通訳ガイドが翻訳する時間もなかったため,ほとんどの参加者に伝えられないようであった。また,座学の解説は,小学生以下の児童には厳しいようで,親は外に子供を連れ出していた。
- ・化石発掘体験はかなり寒い中にも関わらず,ほとんどの参加者が熱心に黙々と発掘していた。化石発掘のような体験は他では経験できないこと,自ら体を動かして化石を採集できること,化石が持ち帰りできることなどが作用しているようである。
- ・ただ,フランス人女性は,使用するハンマーが危険で事故を起こす可能性があると言及していた。また,韓国人の子供は年齢制限でハンマーを使用することが許可されず,親子で離れた場所で遊ぶしかなかった。児童でも何らか体験できるような工夫が欲しい。
- ・また,この地になぜ化石が多産するのか,周辺のジオとどのような関係があるのかなどの解説が十分には伝わっておらず,単なる化石発掘体験に終わってしまった感がある。



白亜紀の巨大なアンモナイト



地層をまるごと建物で覆った産出展示



発掘体験前のルール説明



熱心に化石発掘をするアメリカ人男性

②いわき市石炭・化石館ーほるー

- ・世界の恐竜化石や手で触れられる化石の展示など、館内の展示内容はかなり充実し、音響や映像の演出も凝っていることから、参加者はほとんど興味深く見学しており、写真撮影、ビデオ撮影をする姿が見られた。
- ・ただ、館の日本人学芸員の説明は早口で日本人でも聞こえづらい上、通訳ガイドに翻訳の時間が与えられておらず、解説板も日本語のみであった。英語版の簡単なガイドブックは配布されたもののあまり役立っておらず、参加者には言語に対してかなりストレスがあったようである。
- ・世界のエネルギー事情を紹介したコーナーには、多くの参加者が関心を示した。自分の出身国と日本、各国のエネルギー事情が比較できるため、会話が進むようである。このような世界の国々との対比や比較などのコーナーは、外国人ツアー客の関心を高めるのに有効と考えられる。
- ・土産コーナーは、閉館時間が迫っている中にも関わらず、かなり人気であった。ただ、各々が関心を示す対象は多様であり、例えば、韓国人の親子は恐竜のフィギュアや関連グッズに、中国人の女性2人は5,000円の琥珀を購入し、フランス人やインド人女性は参考図書を目当てにしていた。
- ・また、店員に人気の土産を聞いたところ、アンモナイトの化石（500円程度～）、琥珀、恐竜グッズなどであった。



充実した展示



手で触ることができる恐竜の糞の化石



ずらりと並ぶ日本語のみの解説版



臨場感ある模擬坑道



世界のエネルギー事情のパネルに興味を示すインド人女性

③五浦観光ホテル

- ・料理については、特に、北茨城以北で取れる地元の魚メヒカリの唐揚げに感激していた。
- ・若女将の英語の解説にも非常に興味しており、受け入れ側の言語対応も重要なおもてなしの一つと言える。
- ・露天風呂や太平洋から昇る朝日に感銘を受けており、日本の伝統様式やその場所その瞬間にしか見られないものに対する関心が高いようである。
- ・食事の合間にもジオツアーに関する様々なアイデアが提案された。
- ・主なアイデアは、茨城空港を利用すれば、中国・韓国から人を呼ぶことができる。特に修学旅行をターゲットにすれば結構来るだろう。中国をターゲットにしたツアーは、工夫が必要だが、可能性はかなりある。地元の人との交流も考えた方がよい。子供も含めた家族連れでの参加をしたので、子供向けのプログラムも工夫して欲しい。東京在住の外国人は、茨城県のことほとんど知らず関心もないので、うまく宣伝することが必要。
- ・食事に参加した高萩、北茨城の両市長は、茨城県北をぜひ国際的に宣伝したい。ジオパークを機会に、国際的な交流がさかんになれば、県北地域も元気になるに違いない。教育という観点からもジオパークに期待している。と意気込みを語っていた。
- ・旅館の若女将は、ホテル周辺の景観がジオと結びついていたなんて初めて知った、と驚いており、今後これらをうまく利用していきたいと前向きであった。

- ・食事と温泉の満足度はかなり高い様子で、これらをうまくジオと結び付けることでジオツアーの魅力がますます高まると思われる。



五浦観光ホテルの外観



若おかみと会話するアメリカ人男性



名物アンコウ鍋



ジオパークを支援する地元市長らと一緒に夕食

④五浦海岸～岡倉天心記念館～六角堂

- ・断崖と入江と海から構成される五浦海岸の絶景や六角堂の存在には、一同が感銘し、写真やビデオを撮影する姿が見られた。このような自然がつくり出す造形への評価は万国共通なのだろう。
- ・海岸に漂流ゴミが多く、景観を阻害していた。
- ・茨城大学の学生がジオガイドとして地質の成り立ちについて解説し、通訳ガイドがその要旨を翻訳して伝えており、参加者も一定の理解ができたようである。ただ、メタンハイドレードと岩との関係や、ノジュールの意味するもの、台地上の平坦な地形と断崖の関係などの詳しい解説については、部分的であったこともあり、通訳ガイドが翻訳しきれない部分があった。
- ・岡倉天心記念館では、ボランティアガイドの解説を通訳ガイドが適宜翻訳して伝えており、英語の解説ガイドブックも配布されたこともあり、一同流れに沿うように見学していた。
- ・インド人の女性は、岡倉天心と関わりがあった「タゴール」と「プリヤン」というインド人とのつながりに非常に興味を示していた。特に、「プリヤン」という名は、自らの名前の一部でもあるため、自身とのつながりを発見したことに感嘆していた。

観察対象の中に自らのつながりを発見する要素があると、その関心は飛躍的に高まるのではないかと考えられる。



五浦海岸の絶景



海岸の漂流ゴミ



ジオガイドが図を使って地質を説明



韓国人女性の質問に通訳を介して回答するジオガイド



ジオガイドが六角堂周辺の岩と中国庭園、メタンハイドレートとの関係について説明



左：岡倉天心記念館前で英語のテキストを見るインド人女性と通訳



右：岡倉天心とインドとのつながりに興味を示すインド人女性

⑤長浜海岸（鳴き砂海岸）～ケイソウ土～風船爆弾放流地跡

- ・海岸の鳴き砂の解説には通訳ガイドの翻訳もあり、一同多くの関心を示していた。中には、インド人女性のように、砂を手にとってその色あい、石英の存在などを確かめる姿も散見された。
- ・また、中国人女性などは鳴き砂が本当に鳴くのかを足で確かめていた。流れの流入部では流れがつくる砂鉄の黒い紋様を観察する姿も見られた。このような目の前の砂、石、岩などのジオ的な解説とともに、実物を手にとって確かめるようなプログラムは、参加者の関心を高め、理解を深めるために有効ではないかと考えられる。
- ・ケイソウ土の解説にもほとんどがかなり興味深く聞き入る姿が見られた。また、珍しい石の色、形、軽さ、もろさなどを手にとって興味深く観察していた。このような珍しい石、岩などの存在は、楽しく学ぶ学習プログラムを開発することで、ツアー客を引き付ける要素となりうると考えられる。
- ・風船爆弾の解説では、アメリカ人男性が「この地とサンフランシスコはとても近い、なぜならジェット気流が流れているから」とそのつながりに感慨深く話していた。これも、訪問地と参加者の出身国とのつながりを発見したことにあたる。



砂を手取るインド人女性



砂鉄の黒い模様



もろいケイソウ土



ケイソウ土を手取って興味深く観察するフランス人女性とアメリカ人男性



風船爆弾放流地跡の碑前で解説するガイド

⑥勿来の関

- ・勿来の関については、バスガイドによる解説があり、通訳ガイドが解説して伝えてい

たが、参加者の関心は一様に低いようであった。

- ・「関」とは何なのか？ それがなぜ観光スポットなのか？ ジオとどのようなつながりがあるのか？ などの情報が不足していたことも関心の低さに影響したと考えられる。



関心が低くまとまりのない状態



勿来の関公園内の平安時代の寝殿造「吹風殿」

⑦その他

- ・モニターと通訳者は最初から積極的にコミュニケーションを取っていた。
- ・国籍の異なるモニター同士のコミュニケーションについては、アメリカ人男性とフランス人女性は英語でコミュニケーションを取っていたが、その他の人は、共通言語が無いためか、あまり活発ではなかった。
- ・質疑応答は各サイトで見受けられたが、バスの車内では無かった。
- ・中国では冷たい食事やお弁当を食べる習慣がなく好まれないようである。



左：バスの車内でジオパークのパンフレットを見ながら説明を聞く様子
右：バスの車内で配られた冷たい弁当に少々がっかりする中国人女性

3.2.2 アンケート・ヒアリングの整理

(1) 属性

『年齢別』では、20代～30代が全体の6人と比較的多く、『性別』では、「女性」が男性より5人多い。『国籍別』では、「中国」が3人、「韓国」が2人で、その他は1人である。『所在地別』では、「茨城県」が6人で最も多く、その他は「東京都」と「千葉県」である。『家族構成別』では、「単身」と「夫婦と子供」がそれぞれ4人、「夫婦のみ」が1人で、その他の区分に該当する者はいない。『職業別』では、「学生」が3人、「自営業」が2人と続く。

| 区分 | 回答数(人) |
|-----------|----------|
| 10代 | 0 |
| 20代 | 3 |
| 30代 | 3 |
| 40代 | 1 |
| 50代 | 1 |
| 60代 | 1 |
| 70代以上 | 0 |
| 合計 | 9 |

| 区分 | 回答数(人) |
|-----------|----------|
| 男性 | 2 |
| 女性 | 7 |
| 合計 | 9 |

| 区分 | 回答数(人) |
|-----------|----------|
| 中国 | 3 |
| 韓国 | 2 |
| インド | 1 |
| フランス | 1 |
| アメリカ | 1 |
| 日本 | 1 |
| 合計 | 9 |

| 区分 | 回答数(人) |
|-----------|----------|
| 茨城県 | 6 |
| 東京都 | 2 |
| 千葉県 | 1 |
| 合計 | 9 |

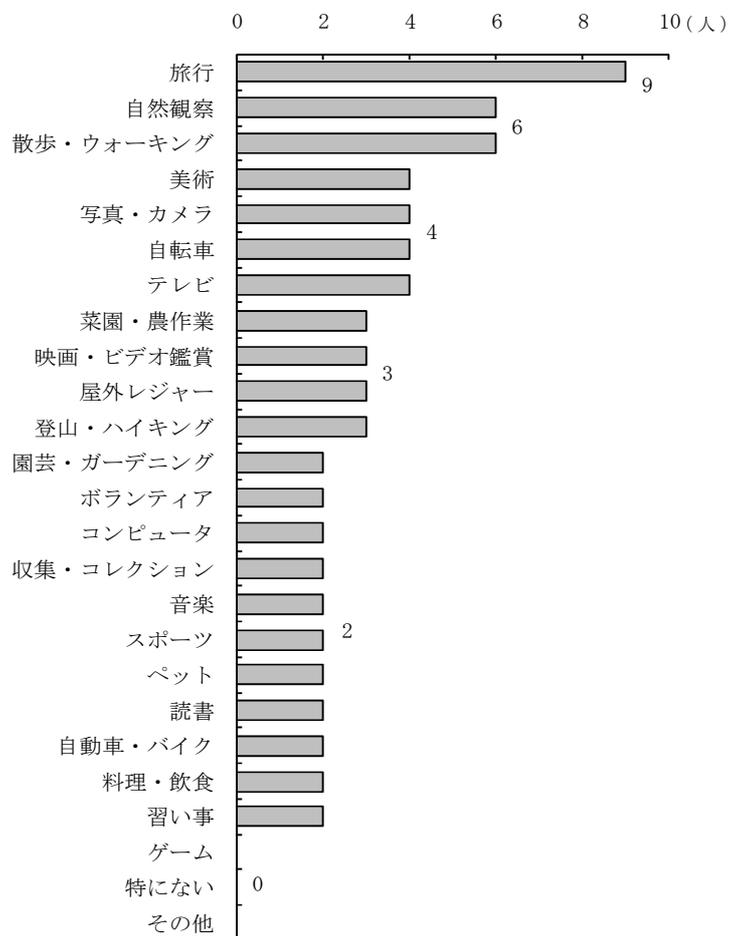
| 区分 | 回答数(人) |
|-----------|----------|
| 学生 | 3 |
| 自営業 | 2 |
| 公務員・団体職員 | 1 |
| 専業主婦 | 1 |
| その他 | 1 |
| 会社員 | 0 |
| アルバイト | 0 |
| 無職 | 0 |
| 無回答 | 1 |
| 合計 | 9 |

| 区分 | 回答数(人) |
|-------------|----------|
| 単身 | 4 |
| 夫婦のみ | 1 |
| 夫婦と子供 | 4 |
| 夫婦と親 | 0 |
| 夫婦と子供と親の三世代 | 0 |
| その他 | 0 |
| 合計 | 9 |

(2) 興味・関心

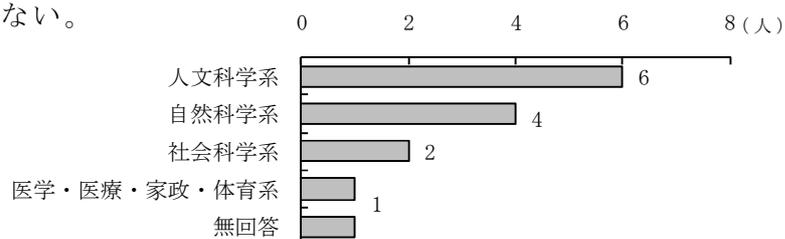
a) 趣味（複数回答）

「旅行」が1位で、9人全員が回答している。次いで、「自然散策」と「散歩・ウォーキング」が6人で2位となっている。その他の項目はいずれも4人以下でほとんど差はなく、「ゲーム」と「特にない」は0人である。



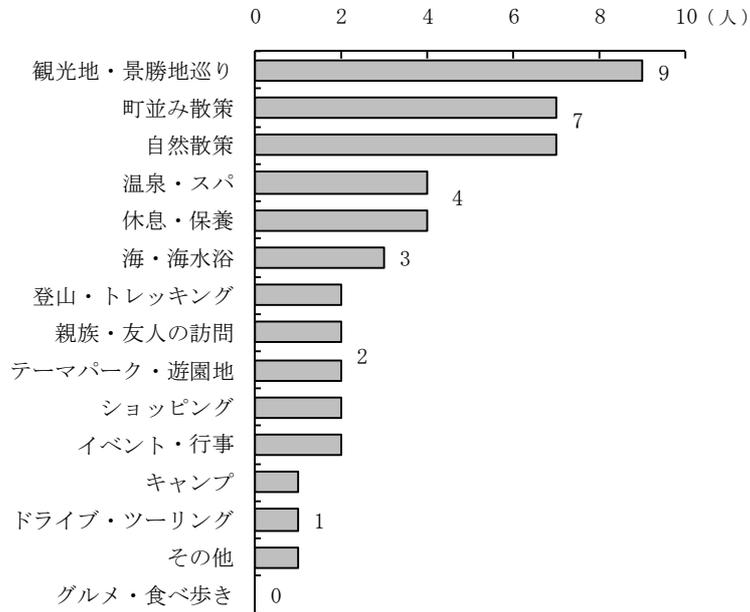
b) 専門分野・関心のある分野（複数回答）

「人文科学系」が6人で最も多く、次いで、「自然科学系」が4人である。また、詳細項目については、「人文科学系」では、文学、言語、歴史、教育、メディア、哲学、人間科学、芸術、「自然科学系」では、生物、地学、数学、工学が選択されているが、大きな差は見られない。



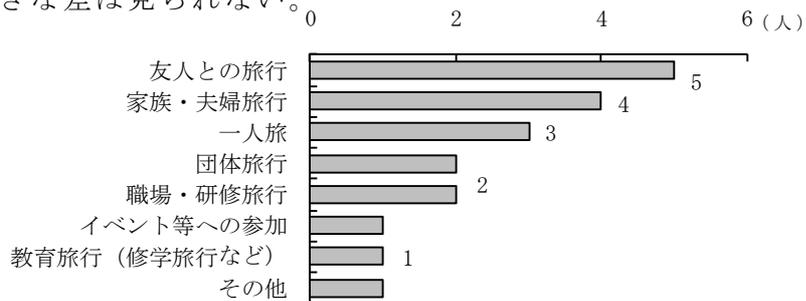
c) 旅の目的（複数回答）

「観光地・景勝地巡り」が1位で、9人全員が回答している。次いで、「町並み散策」と「自然散策」が7人で2位となっている。その他の項目はいずれも4人以下でほとんど差はなく、「グルメ・食べ歩き」は0人である。



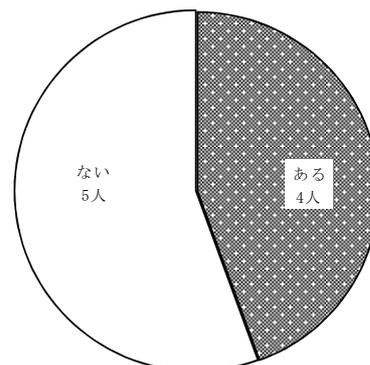
d) 旅のスタイル（複数回答）

「友人との旅行」が5人で最も多く、次いで、「家族・夫婦旅行」が4人と続いているが、大きな差は見られない。



e) 地質や地形に関する学問を学んだ経験

「ある」が4人、「ない」が5人である。



f) 地質や地形に対する関心度

『関心がある』(=「非常に関心がある」+「やや関心がある」)が7人で、「普通」が2人である。

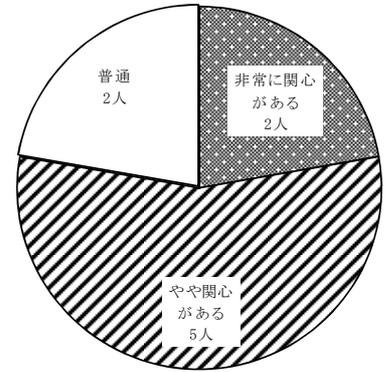
《理由》

①今、子供が石・砂・海などの自然に関心が高いから。

(30代女性・韓国)

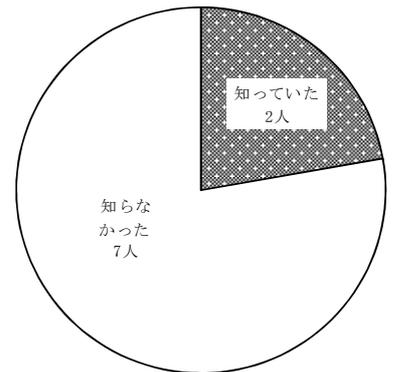
②私は地質学者だが、一般の人たちにとっても面白い事だと思う。(20代女性・フランス)

③地質や地形は人々の生活と文化に大に関係がある。知識があればそのような観点で地域を見たり考えたりすることができ、自然災害等についても関心を持つことができる。(60代女性・日本)



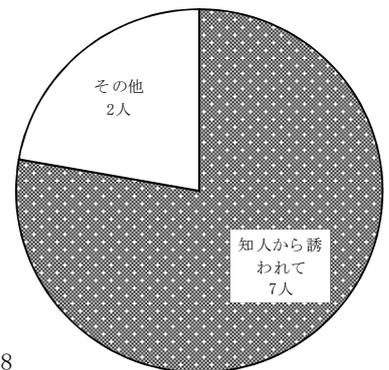
g) 茨城県北ジオパークを知っていたか

「知っていた」が2人、「知らなかった」が7人で、「知らなかった」と回答した人が多い。



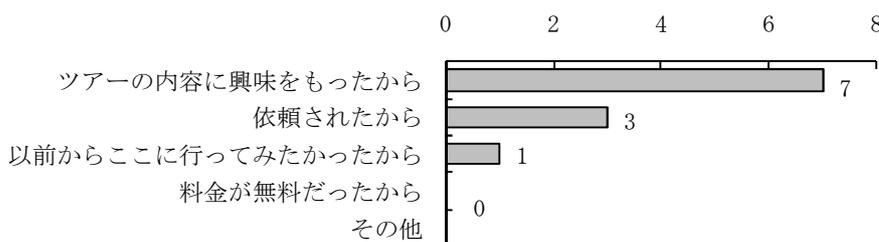
h) 今回のツアーを何で知ったか

「知人から誘われて」が7人、「その他」が2人で、「チラシ」「新聞」は0人である。



i) 今回のツアーの動機 (複数回答)

「ツアーの内容に興味をもったから」が7人で最も多く、その他の項目はいずれも3人以下である。



(3) サイト別評価

注：各項目の5段階評価は、「どちらでもない」を除き、下記の『』の2指標にまとめる。

【サイトへの「関心度」】

『関心あり』（＝「非常に関心あり」＋「やや関心あり」）

『関心なし』（＝「全く関心なし」＋「あまり関心なし」）

【解説に対する「理解度」】

『理解できた』（＝「非常に理解できた」＋「やや理解できた」）

『理解できなかった』（＝「全く理解できなかった」＋「あまり理解できなかった」）

【提供された情報の「満足度」】

『満足』（＝「非常に満足」＋「やや満足」）

『不満』（＝「非常に不満」＋「やや不満」）

【通訳に対する「満足度」】

『満足』（＝「非常に満足」＋「やや満足」）

『不満』（＝「非常に不満」＋「やや不満」）

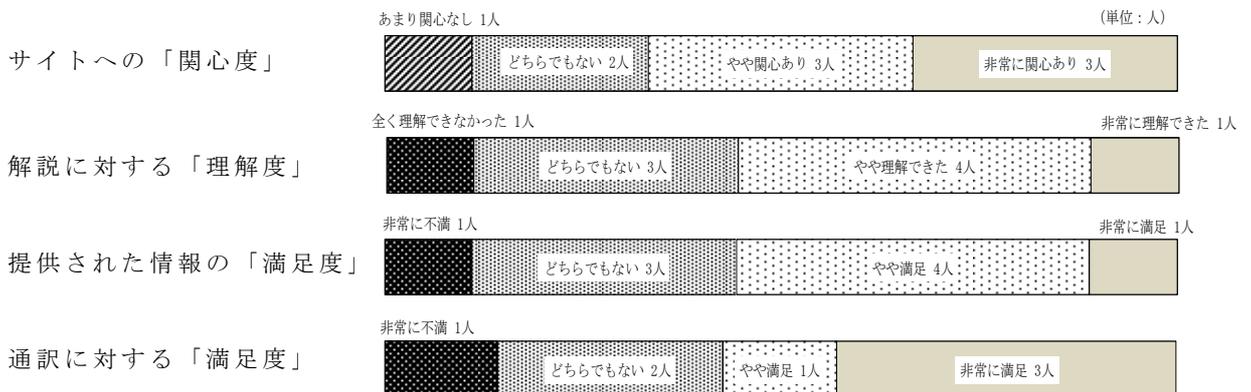
a) いわき市アンモナイトセンター

【サイトへの「関心度」】は、『関心あり』が6人、『関心なし』が1人。

【解説に対する「理解度」】は『理解できた』が5人、『理解できなかった』が1人。

【提供された情報の「満足度」】は、『満足』が5人、『不満』が1人。

【通訳に対する「満足度」】は、『満足』が4人、『不満』が1人。



(※通訳に対する「満足度」のみ N=7 (中国人通訳 1人と日本人 1人除く))

《興味を持った事項》

- ①化石発掘。(30代女性・韓国, 20代女性・インド)
- ②アンモナイト発掘がとても楽しかった。(50代男性・アメリカ)
- ③発掘体験初めてだったので楽しめた。実際に埋まっている巨大なアンモナイト化石に感動した。(60代女性・日本)

《要望》

- ①子供用の発掘用具（おもちゃでもよい）を用意した方がよい。(30代女性・韓国)
- ②小さな子供にとって発掘道具は危険すぎる。子供用のおもちゃのハンマー等があれば家族でより楽しめたと思う。(30代男性・韓国)
- ③英語のパネルや情報がなかったのので、私が地質学者として友達に解説しなければならなかった。センターのハンマーは容易に壊れる危険な物なので安全なタイプの物に交換すべき。私の同僚はそれが原因で大けがを負ったことがある。私は自前の安全なハンマーを持っていたが使用できなかった。今のルールはばかっている。(20代女性・フランス)

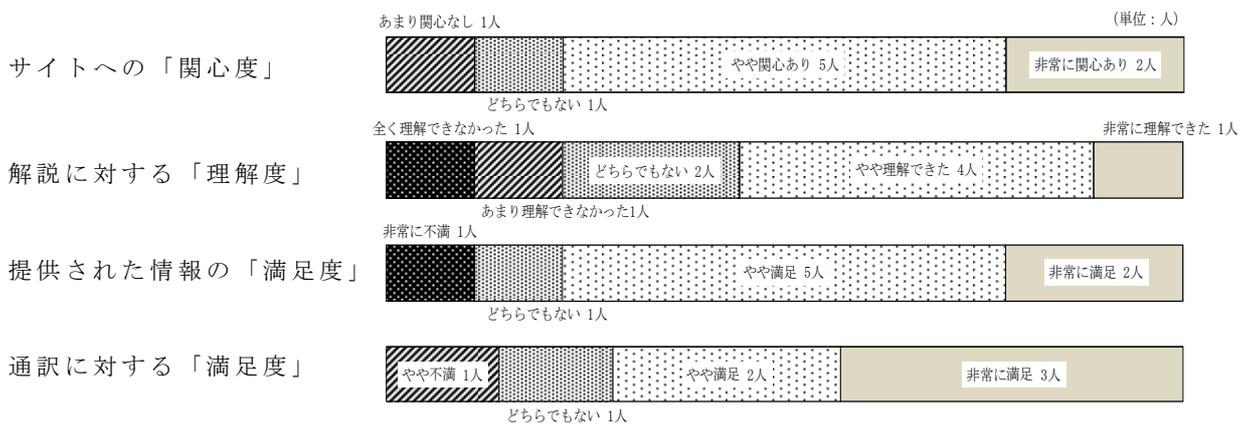
b) いわき市石炭・化石館－ほるる－

【サイトへの「関心度」】は、『関心あり』が7人、『関心なし』が1人。

【解説に対する「理解度」】は、『理解できた』が5人、『理解できなかった』が2人。

【提供された情報の「満足度」】は、『満足』が7人、『不満』が1人。

【通訳に対する「満足度」】は、『満足』が5人、『不満』が1人。



（※通訳に対する「満足度」のみ N=7（中国人通訳 1人と日本人 1人除く））

《興味を持った事項》

- ①化石と石炭の観覧。(30代女性・韓国)
- ②化石ミュージアム (20代女性・インド)

- ③素晴らしい化石があった。化石や岩石に見て触れることができるのは地質学者だけでなく一般の人々にとっても素晴らしい経験になると思う。(20代女性・フランス)
- ④素晴らしいミュージアムだった。(50代男性・アメリカ)
- ⑤いわき市周辺の産出化石とともに世界の化石も見ることができてよかった。町の歴史である石炭産業についてもよく展示されており、現在へとつながっている様子が分かった。(60代女性・日本)

《要望》

- ①英語の記載が必要。(20代女性・フランス)

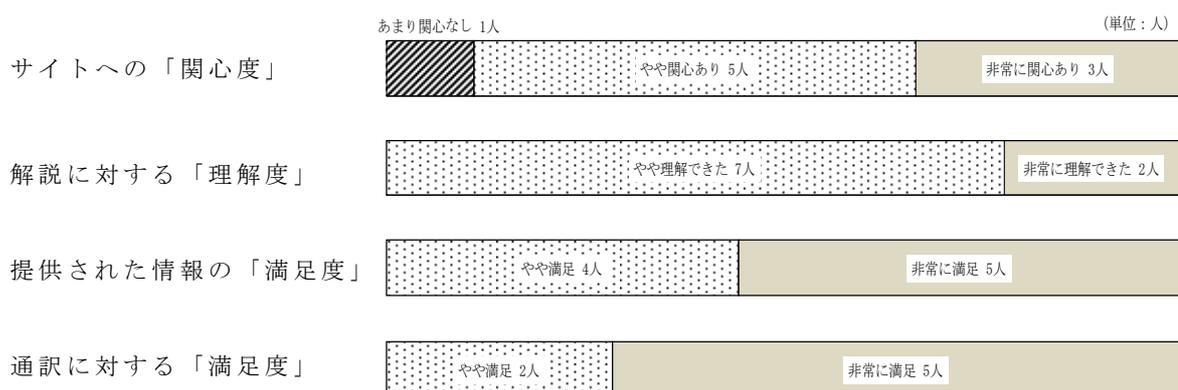
c) 五浦観光ホテル別館大観荘

【サイトへの「関心度」】は、『関心あり』が8人、『関心なし』が1人。

【解説に対する「理解度」】は、『理解できた』が9人、全員が回答している。

【提供された情報の「満足度」】は、『満足』が9人、全員が回答している。

【通訳に対する「満足度」】は、『満足』が7人、全員が回答している。



(※通訳に対する「満足度」のみ N=7 (中国人通訳 1人と日本人 1人除く))

《興味を持った事項》

- ①温泉・夕ご飯。(30代女性・韓国)
- ②一度も露天風呂に入ったことがなかったので大変興味深かった。両親が来たらもう一度ここに来ようと思う。このホテルは日本の伝統的な精神を感じるのにとってもいい場所だと思う。このホテルや周辺は韓国の人々の間では有名ではないが、茨城に住む韓国人にこの評判が広まれば、他の遠くの観光地まで行くことなくここに来るでしょう。(30代男性・韓国)
- ③ホテルの10階に泊れて露天風呂や日の出を楽しめてとても嬉しかった。(20代女性・インド)

④美しいロケーション,素晴らしい食事と温泉。(50代男性・アメリカ)

⑤温泉・食事よかった。(60代女性・日本)

《要望》

①冬の夜に露天風呂に入るのは大変。(30代女性・韓国)

②スタッフは英語をより話そうと努めていたが,英語のサインは無く,日本語のサインさえわずかだった。(20代女性・フランス)

③宿の方からの食事の説明(品書き)は全くなかった。せっかく地の物が沢山出ているので自慢しながらジオとのつながりなどの解説があるとよかった。参加者(モニター)との交流(意見交換)ができる場の設定があるととってもよかったと思う。(60代女性・日本)

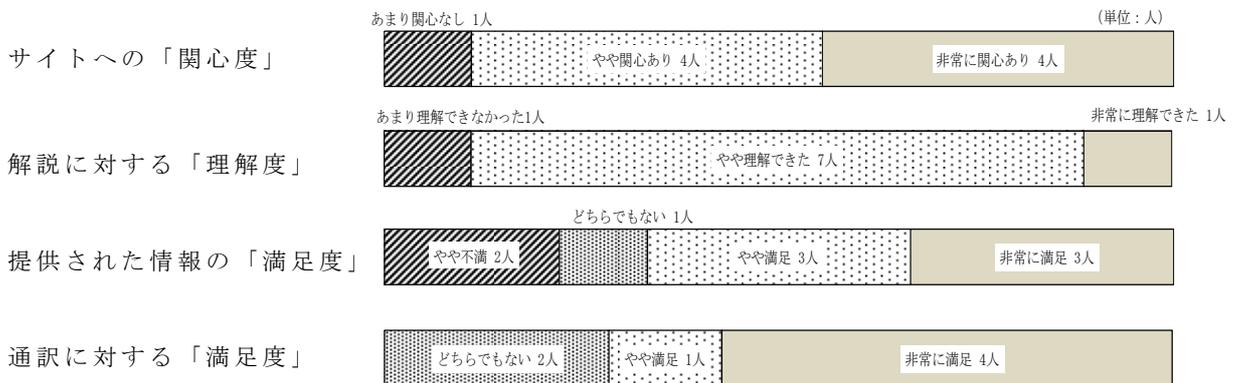
d) 五浦地域の散策

【サイトへの「関心度」】は、『関心あり』が8人,『関心なし』が1人。

【解説に対する「理解度」】は『理解できた』が8人,『理解できなかった』が1人。

【提供された情報の「満足度」】は、『満足』が6人,『不満』が2人。

【通訳に対する「満足度」】は、『満足』が5人で,『不満』が0人。



(※通訳に対する「満足度」のみ N=7(中国人通訳1人と日本人1人除く))

《興味を持った事項》

①美しい景色,色々な場所へ行って説明を聞くのがよかった。(30代女性・韓国)

②天心と地質の景観の関心に興味をもった。その関係性の説明も十分であった。穏やかな環境の中を散歩するのが大変好きなので最高でした。ソウルの人ゴミから抜け出して旅行に行きたい人々は,松や盆栽,自然,洗練された日本庭園を見ながら散歩することができる。(30代男性・韓国)

③海辺の瞑想場所。(20代女性・インド)

④全て。特にビーチのロケーションと天心ミュージアム。(50代男性・アメリカ)

⑤景勝地であり歴史的建造物等もあり大変よかった。(60代女性・日本)

《要望》

①学術的説明だけでなく天心に関する面白い逸話等を交ぜるとよい。歴史的なイベントのガイドも推奨されるとよい。(30代男性・韓国)

②時間的に厳しくもったいなかった。(60代女性・日本)

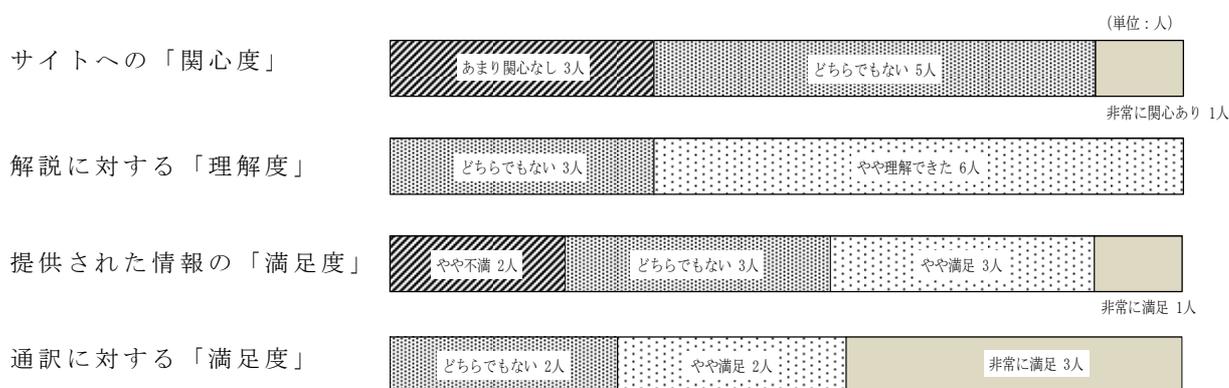
e) 勿来の関

【サイトへの「関心度」】は、『関心あり』が1人、『関心なし』が3人。

【解説に対する「理解度」】は、『理解できた』が6人、『理解できなかった』が0人。

【提供された情報の「満足度」】は、『満足』が4人、『不満』が2人。

【通訳に対する「満足度」】は、『満足』が5人で、『不満』が0人。



(※通訳に対する「満足度」のみ N=7 (中国人通訳 1人と日本人 1人除く))

《興味を持った事項》

①日本の伝統的景観の中での散歩。(30代男性・韓国)

②東北地方と関東地方の間にあるチェックポイント。(20代女性・インド)

③とても美しい場所だった。(20代女性・インド)

④すごく素敵な公園ときれいなロケーション。(50代男性・アメリカ)

《要望》

①ジオツアーには他のサイトがよいと思う。(30代女性・韓国)

②地質と歴史の関係について説明があればよい。(30代男性・韓国)

③旧跡を訪ねる場合、解説等に工夫が必要。外国の方はあまり興味を持てなかったと思う。(60代女性・日本)

(4) 項目別評価

a) サイトへの「関心度」

『関心あり』(=「非常に関心あり」+「やや関心あり」)の回答人数が多い順に、

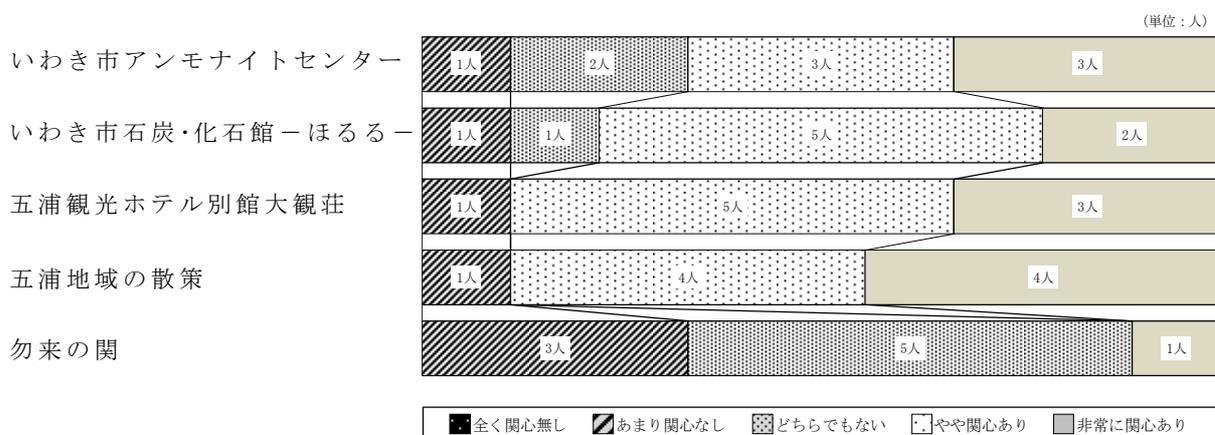
1位【五浦観光ホテル別館大観荘】【五浦地域の散策】8人

2位【いわき市石炭・化石館－ほるる－】7人

3位【いわき市アンモナイトセンター】6人

4位【勿来の関】1人

4位の【勿来の関】については、「あまり関心なし」、「どちらでもない」の人数が他のサイトに比べて若干多い。



b) 解説に対する「理解度」

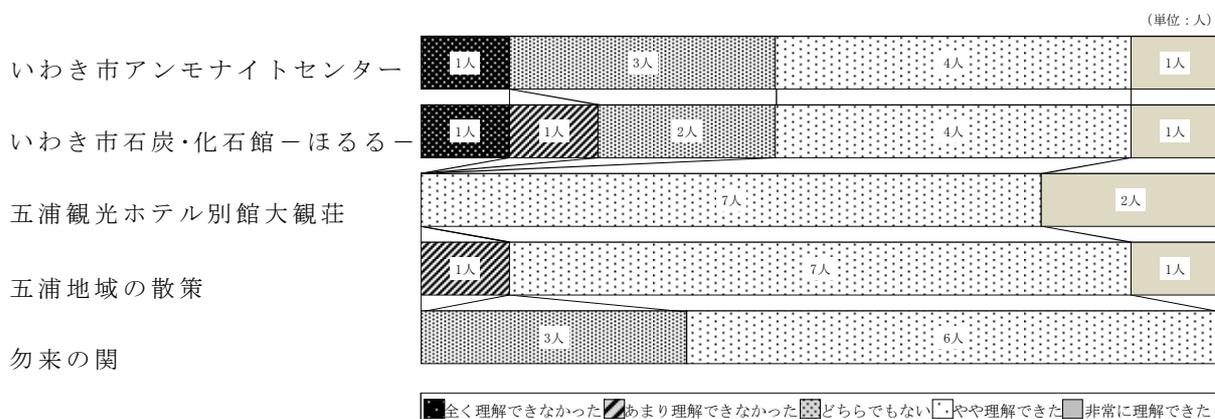
『理解できた』(=「非常に理解できた」+「やや理解できた」)の回答人数が多い順に、

1位【五浦観光ホテル別館大観荘】9人

2位【五浦地域の散策】8人

3位【勿来の関】6人

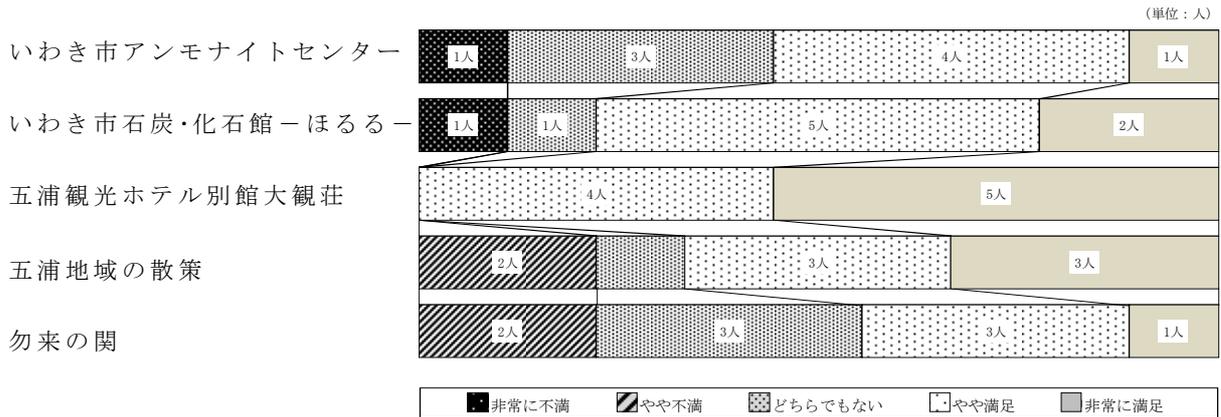
4位【いわき市アンモナイトセンター】【いわき市石炭・化石館－ほるる－】5人



c) 提供された情報の「満足度」

『満足』（＝「非常に満足」＋「やや満足」）の回答人数が多い順に、

- 1位【五浦観光ホテル別館大観荘】9人
- 2位【いわき市石炭・化石館－ほるる－】7人
- 3位【五浦地域の散策】6人
- 4位【いわき市アンモナイトセンター】5人
- 5位【勿来の関】4人

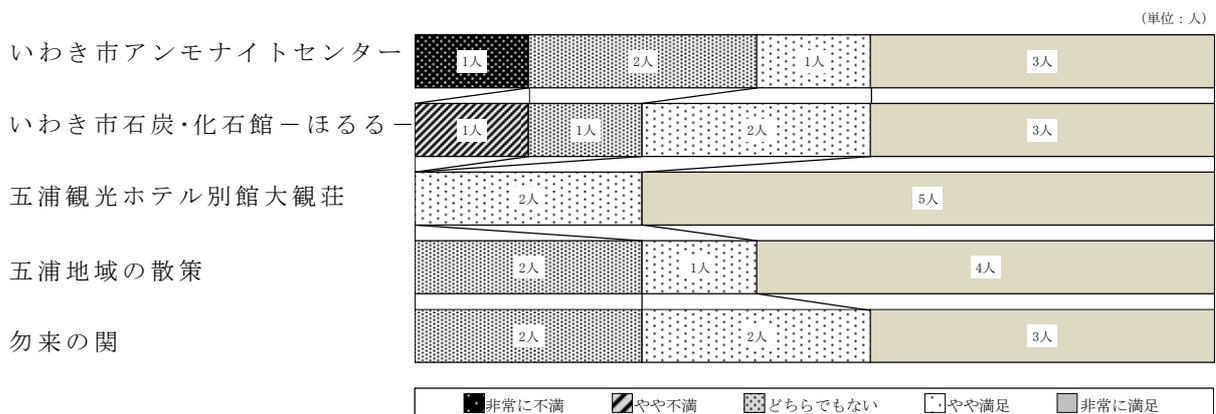


d) 通訳に対する「満足度」

(※通訳に対する「満足度」のみ N=7 (中国人通訳 1人と日本人 1人除く))

『満足』（＝「非常に満足」＋「やや満足」）の回答人数が多い順に、

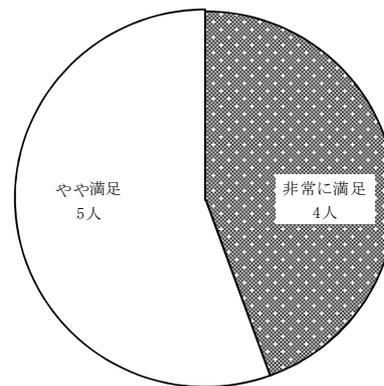
- 1位【五浦観光ホテル別館大観荘】7人
- 2位【いわき市石炭・化石館－ほるる－】【五浦地域の散策】【勿来の関】5人
- 3位【いわき市アンモナイトセンター】4人



(5) ツアー全体の評価

a) 全体的な「満足度」

『満足』(=「非常に満足」+「やや満足」)
と回答した人が9人全員である。



b) 感想

- ① ジオツアーの内容とてもよかった。特に、アンモナイトセンターでの発掘体験はとても面白かった。色々な化石を発見するためには化石について知らなくてはならないので、子供にとっていい体験・勉強になる。(30代女性・韓国)
- ② 両親ともう一度来たい。両親は松のある景観を散歩するのが好きなので、日本の風景や文化を楽しんでもらいたい。特に素晴らしいのは、地質学博士や学生達から知識を得られたこと。自然に対する知識を得るのに良い機会だった。(30代男性・韓国)
- ③ 大変楽しんだ。ジオパーク内の探索はよい経験になった。異なる国の人達と会えて素晴らしい経験だった。(20代女性・インド)
- ④ とても楽しんだ。スタッフも親切で組織も良い。地質学者は岩を見るのが楽しみなので大変良かった。一般の人達にとっても興味深く素晴らしい体験だと思う。(20代女性・フランス)
- ⑤ 美しいロケーションと素晴らしいスタッフでとてもよかった。充実した時間だった。(50代男性・アメリカ)
- ⑥ 心がこもったおもてなしにはとても満足だが、内容としてはやや充実感が足りない。(30代女性・中国)
- ⑦ 素晴らしい経験だった。地質学者とのツアーはよい試みだ。(20代女性・中国)
- ⑧ 概ね楽しいツアーであった。(60代女性・日本)
- ⑨ 上海空港－茨城空港間は低料金なので、中国から訪日教育旅行を受け入れとよいのではないか。(40代女性・中国)

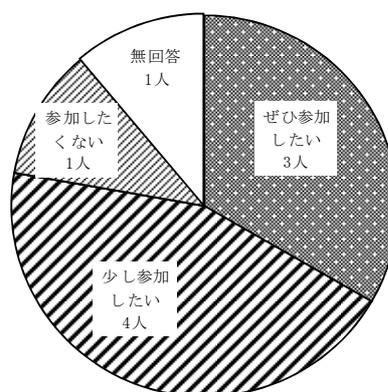
c) 改善点

- ① ツアーの対象年齢を決めることが必要。3歳の子供が順序や規則を守りながら博物館を観覧するのは難しい。午後の12～15時はお昼寝の時間だから大人のスケジュールに従うのは大変。(30代女性・韓国)
- ② 小さな子供達のための準備があればよい。(30代男性・韓国)
- ③ ミュージアム内に英語の情報があるべき。ミュージアムの見学にもう少し時間を取るべき。(20代女性・インド)

- ④今回は親切な通訳がいたが、通常は通訳はいないので、英語、中国語、韓国語などの多言語情報が必要。外国に向けて発展させるなら外国語整備が一番重要。アンモナイトセンターのハンマーを交換しなければ、誰かが重大なケガをする可能性がある。(20代女性・フランス)
- ⑤アンモナイト発掘と石炭ミュージアム、いわきエリアの時間をもっと増やして欲しい。多言語標識や情報の位置を考えるべき。(50代男性・アメリカ)
- ⑥中国客にとって、岡倉天心や勿来の関は魅力少ない。海は綺麗だがゴミがたくさんあり殺風景。地質を切り口とした解説はやや分かりにくい。(30代女性・中国)
- ⑦タイムメッセージ、英語の翻訳が必要。(20代女性・中国)

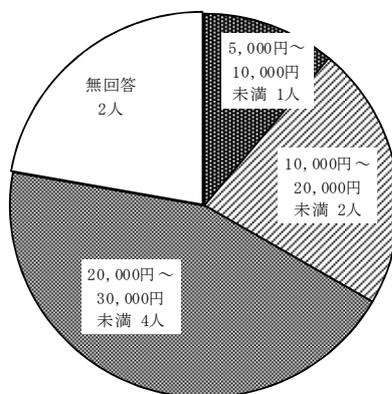
(6) 今後の意向

a) 類似のジオツアーがあれば参加したいか『参加したい』(=「ぜひ参加したい」+「少し参加したい」)が7人で、『参加したくない』(=「参加したくない」+「あまり参加したくない」)が1人である。



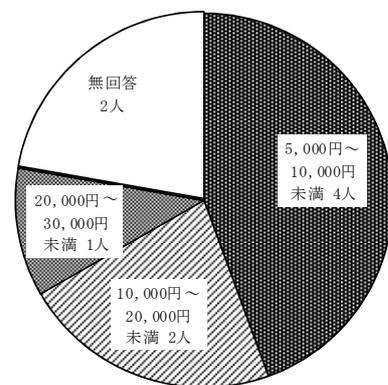
b) 今回のツアーの適当な値段(交通費含む) 回答人数が多い順に、

「20,000円～30,000円未満」が4人、
「10,000円～20,000円未満」が2人、
「5,000円～10,000円未満」が1人、
であり、「2,000円未満」, 「2,000円～5,000円未満」, 「30,000円～50,000円未満」, 「50,000円以上」は0人である。



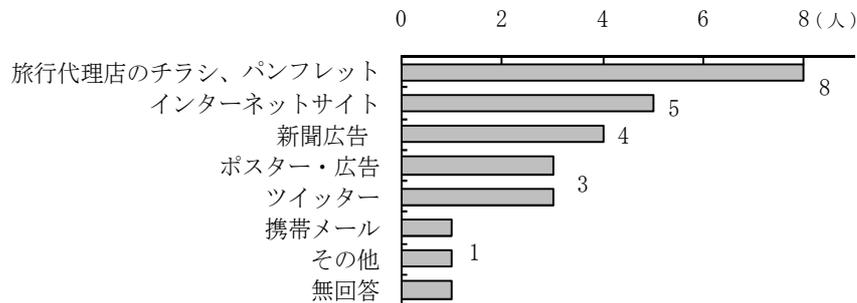
c) 今回のツアーガイドの適当な値段

回答人数が多い順に、
「5,000円～10,000円未満」が4人、
「10,000円～20,000円未満」が2人、
「20,000円～30,000円未満」が1人、
であり、「2,000円未満」, 「2,000円～5,000円未満」, 「30,000円～50,000円未満」, 「50,000円以上」は0人である。



d) ジオツアーの案内の入手方法として適切と思われる情報媒体（複数回答）

「旅行代理店のチラシ、パンフレット」が8人で最も多く、次いで、「インターネットサイト」が5人と続いている。



(7) 委員等の意見

①細見委員

- ・外国人観光客が日本のジオパークに求めるものは何かを考え、コンセプト、ストーリー、ターゲットを決めることが重要。
- ・ジオ、歴史、文化のつながりの情報が不足している。
- ・旅行は「流れ」と「溜まり」を作ること。流れは道路や標識、溜まりは拠点となる場所や宿泊所。次も来たいと思う旅でなければいけない。

②神尾委員

- ・ジオのコンセプトの説明やストーリー性がほしい。テキストも必要ではないか。
- ・風船爆弾の重りに使用した五浦海岸の砂に特殊な鉱物が入っていたことからアメリカ軍が攻撃地をつきとめたという話があり、全体的にもっとジオにこだわった説明をすることでより魅力が増すのではないか。

③齊藤委員

- ・全体的にジオの要素が不足している。
- ・ケイソウ土の所については、糸魚川には無い資源で、とても時間を感じさせるよい場所。地域のホスピタリティも感じられた。
- ・ガイドについては、場数を踏むことが重要。
- ・ケイソウ土の所は保護されていない。貴重な資源を破壊することは悪いことであると認識させる必要がある。
- ・適当な料金は、3万円程度。

④土井委員

- ・イントロダクションに日本列島の成り立ち等の大きな物語や、ガイドさんのこだわりがもっと伝わるとよい。バスで移動する場合は、車内での情報提供が必要。

⑤松原委員

- ・通訳は現地ガイドの横に立って、全体通訳をした方がよい。個別に対応するとなると参加者数だけ通訳数が必要になってしまう。

- ・今回は、打合せ不足もあり、タイムテーブルが不明確であった。
- ・コースについては、場所ありきの設定で、コンセプトやストーリー性に一貫性が欠けていた。例えば、アンコウでストーリーもできる。
- ・宿泊先の篠はらでは、食事を食べながらジオロジストと語り会え、旅館の方からは料理自慢が聞け、コミュニケーションもできて満足であった。

⑥古澤委員

- ・ターゲットを明確にする必要がある。
- ・化石体験と地質が結び付かなかった。
- ・地元ガイドのレベルをどれくらい上げていけるのかがポイント。

⑦宮本幹事

- ・ツアー内容については総じて良かった。恐竜の化石やケイソウ土など手で触れて五感で感じるプログラムが有効と思う。
- ・また、訪問ジオサイトが地球と自分とどうつながっているのか、外国人観光客に対して母国とどうつながっているのかを伝えることが重要。例えば、アメリカ人男性は、風船爆弾がジェット気流にのって五浦海岸からサンフランシスコまで到達した話に感じいていた。
- ・テレビで人気の池上彰氏のように解説次第でツアーの面白さはずいぶん変わるので、そのようなガイドを養成することが大事。
- ・ケイソウ土のサイトは、専門家にはそれほどではないかもしれないが、一般の方や子供にはとても面白く魅力的な場所であるので、地形的観点からの説明があればより魅力が増すと思われる。
- ・適当な料金としては、1泊2日で2万円を切る程度でないと多くの客は呼べないのではないか。もしくは、ターゲットを絞って付加価値をつけて料金も高くするなどが考えられる。

⑧伊藤幹事

- ・タイムスケジュールの管理、役割分担を明確にしないといけない。

⑨植田幹事

- ・ジオパークとは何か、ゴンドワナ大陸の話など、全体解説があれば各サイトの位置づけが理解しやすい。
- ・各ジオサイトと外国との接点に着目するとより魅力が増す。例えば、ほるるで掲示されていた世界のエネルギー問題のパネルや、六角堂の海岸にある特殊な岩石が中国の庭園にも多く利用されていることなど。
- ・整備については、多言語整備、バスなどの交通網の整備、看板、海岸域の清掃が課題。
- ・体制については、外国人留学生との連携は素晴らしく、今後も強化すべき。

3.2.3 分析結果

(1) 興味・関心

「景勝地であるジオサイトを巡りながら、ジオについて学び、植物・歴史・文化・暮らしなどとのつながりを感じる旅行」とも言えるジオツアーには、【旅の目的】の上位である「観光地・景勝地巡り」, 「町並み散策」, 「自然散策」の要素が含まれており、旅行の目的になり得ると考えられる。一方、それ以外の項目については大きな差が見られず、参加者の関心は多様であることが分かる。

【旅のスタイル】については、「友人との旅行」が最も多いが他の項目と大きな差は見られず、家族構成などの属性と旅のスタイルとの関係性は見出せない。

【地質や地形に対する関心度】と【地質や地形に関する学問を学んだ経験】との関係性については、地質や地形に対する『関心がある』と回答した7人の内、地質や地形に関する学問を学んだ経験が「ない人」が3人いることから、必ずしも、地質や地形に関する学問を学んだ経験がなくても、地質や地形に対する関心を示すことが分かる。

【地質や地形に対する関心度】と【専門分野・関心のある分野】との関係性については、地質や地形に対する『関心がある』と回答した7人の内、「自然科学系」以外を回答した人が3人いることから、必ずしも、「自然科学系」の専門知識や関心がなくても、地質や地形に対する関心を示すことが分かる。

【地質や地形に対する関心度】と【茨城県北ジオパークを知っていたか】との関係性については、地質や地形に対する『関心がある』と回答した7人の内、茨城県北ジオパークを「知らなかった」と回答した人が5人いることから、必ずしも、茨城県北ジオパークについて知らなくても、地質や地形に対する関心を示すことが分かる。

しかし、ジオパークについて知っていれば、より地質や地形に対する関心が高まることが期待できるので、ジオパークの認知度向上が課題と言える。

【今回のツアーの動機】については、「ツアーの内容に興味を持ったから」が最も多く、本企画内容が参加者の興味を引く魅力的なものであったと思われる。

(2) サイト別評価

「いわき市アンモナイトセンター」, 「いわき市石炭・化石館-ほるる-」, 「五浦観光ホテル別館大観荘」, 「五浦地域の散策」, 「勿来の関」のサイト別と、「関心度」, 解説に対する「理解度」, 提供された情報の「満足度」, 通訳に対する「満足度」の評価項目別でレーダーチャート化し、評価の値、バランス、参加者の感想、行動・反応記録などと考え併せて、今後のニーズや課題を抽出する。

サイト別の総合評価点が高い順に、

- 1 位「五浦観光ホテル別館大観荘」
- 2 位「五浦地域の散策」
- 3 位「いわき市石炭・化石館-ほるる-」
- 4 位「いわき市アンモナイトセンター」
- 5 位「勿来の関」, である。

「五浦観光ホテル別館大観荘」は、かなりの高評価の上、非常にバランスがとれた評価結果となっている。その要因としては、当該ホテルは、太平洋を眼下に望む露天風呂やアンコウ鍋等の海の幸を提供する日本情緒あふれる和風老舗旅館であり、外国人のニーズに非常にマッチしたためと思われる。

「五浦地域の散策」は、まずまずの高評価でバランスも良い。その要因としては、5 つのサイトの中で唯一、ジオパークガイド講座を受けたジオガイドによる、詳しい説明があったことで、参加者のジオ資源に対する関心を高め、理解が促進されたためと思われる。

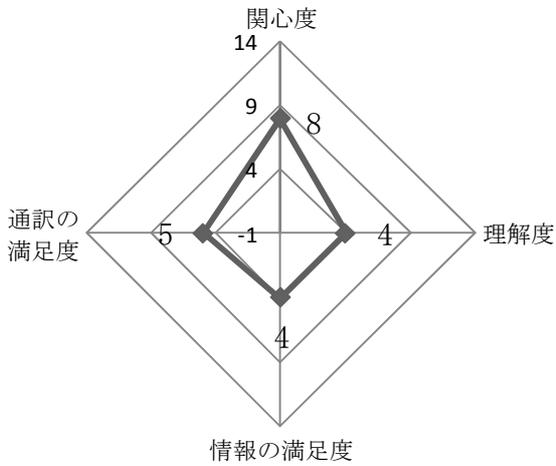
「いわき市石炭・化石館-ほるる-」と「いわき市アンモナイトセンター」は、中評価で、バランスにも欠ける。その要因としては、発掘体験や希少性の高い展示物など、参加者は、ここにしかないジオの要素に関心を示しているものの、館内の解説版に多言語表記がほとんどなく、通訳の時間もあまり取れなかったことから、内容を理解しづらかったためと思われる。

「勿来の関」は、低評価で、他の 4 つのサイトと異なり、サイトへの「関心度」と提供された情報の「満足度」の評価が極端に低く歪なバランスとなっている。その要因としては、この場所の歴史的価値や、歴史と地形の関係性などの情報が不足していたためと思われる。

サイト別レーダーチャート

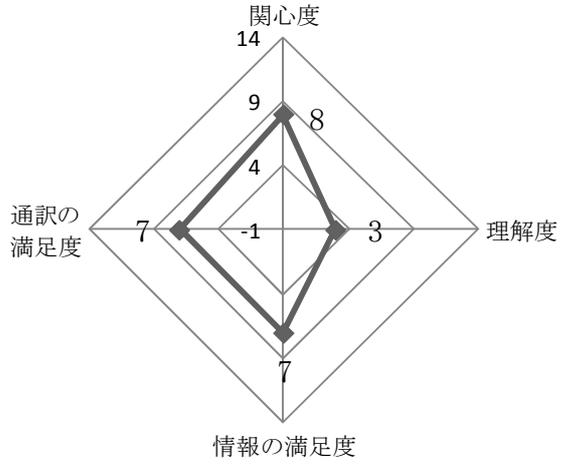
いわき市アンモナイトセンター

(合計 21 点)



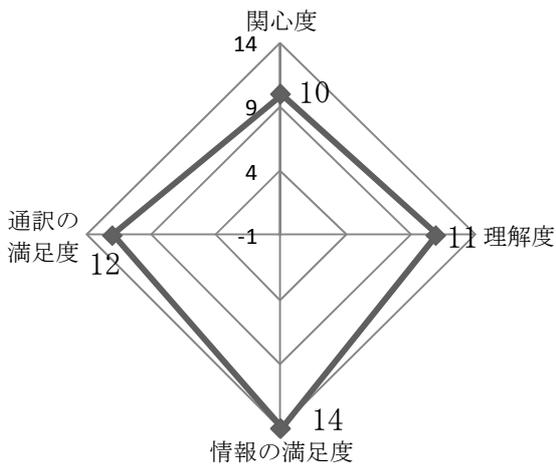
いわき市石炭・化石館-ほるる-

(合計 25 点)



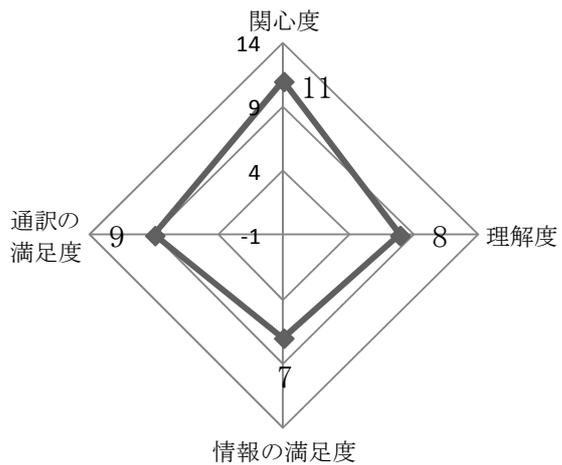
五浦観光ホテル別館大観荘

(合計 47 点)



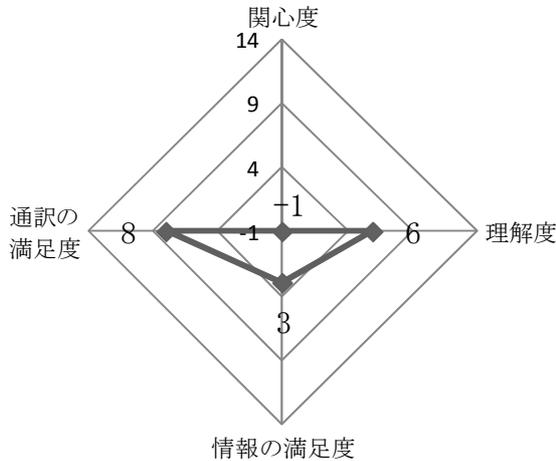
五浦地域の散策

(合計 35 点)



勿来の関

(合計 16 点)

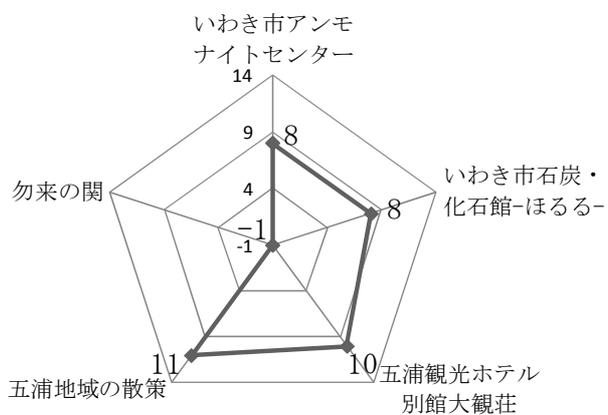


【点数の算定方法】

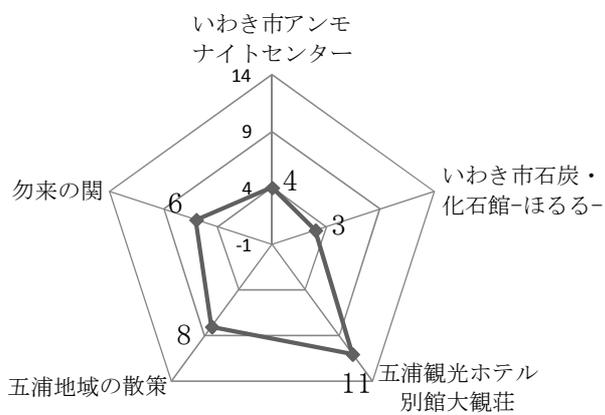
4つの指標の各点数は、各5段階評価で集計された回答数に対し、低位評価から高位評価へ-2点、-1点、0点、1点、2点を乗算し足し合わせたもの。各サイトの合計点数は、サイトへの「関心度」、解説に対する「理解度」、提供された情報の「満足度」、通訳に対する「満足度」の各点数を足し合わせたもの。

項目別レーダーチャート

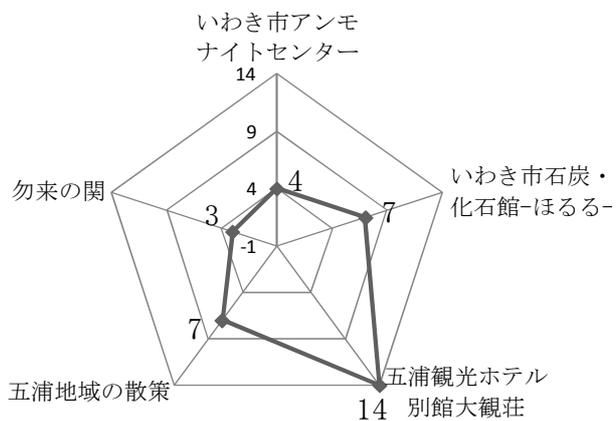
サイトへの「関心度」



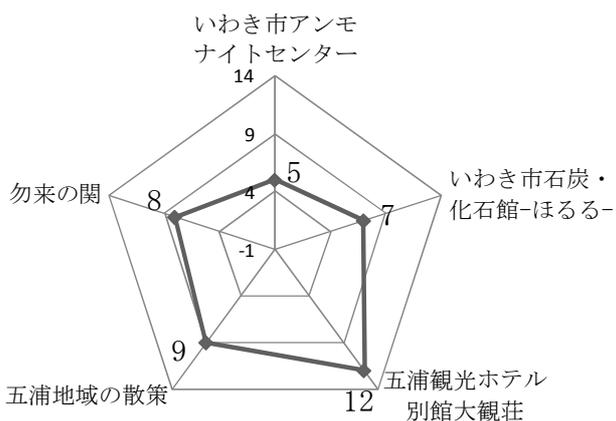
解説に対する「理解度」



提供された情報の「満足度」



通訳に対する「満足度」



(3) ツアー全体の評価

参加者全員が『満足』と回答しており、外国人ツアー客は、地域のジオツアーに潜在的ニーズを持つと考えられる。

参加者が各サイトで興味を持った事項から抽出される潜在ニーズ

| サイト名 | 《興味を持った事項》 | 《潜在ニーズ》 |
|---------------------|---|--|
| いわき市アンモナイトセンター | 化石発掘, 巨大なアンモナイト | <ul style="list-style-type: none"> ここにしかないジオの要素 その瞬間その場所でしか見られないもの 体感する, 触れる 和のおもてなしの心 歴史や文化と地質のつながり ジオと他国とのつながり 日本の伝統文化, 様式, 景観 美しい場所でゆったり過ごす, 歩く |
| いわき市石炭・化石館 -ほるる- | 世界の化石や岩石に触れる, 石炭産業, 町の歴史 | |
| 五浦観光ホテル別館 大観荘 | 温泉, 食事, 日本の伝統的精神, 日の出 | |
| 五浦地域の散策 | 岡倉天心・地質・中国庭園の関係, 美しい景色, 歴史的建造物, 日本庭園, 散歩 | |
| 勿来の関 | 日本の伝統的景観, 東北地方と関東地方の間にあるチェックポイント | |

参加者の要望・改善指摘から抽出される課題

| サイト名 | 《要望》 | 《課題》 |
|---------------------|-------------------------------------|---|
| いわき市アンモナイトセンター | 英語表記, 子供用用具の準備, 発掘用具の安全性と使用上のルールの改善 | <ul style="list-style-type: none"> 多言語整備 ジオツアー通訳ガイドの養成 ツアー中の事故等に対する安全管理, ・規定やルールに対する共通理解と周知 ジオを満喫できる宿泊サービス 外国人の受け入れ環境の整備 通訳に必要な時間を組み込んだツアープログラム |
| いわき市石炭・化石館 -ほるる- | 英語表記 | |
| 五浦観光ホテル別館 大観荘 | 館内に英語のサインない, 料理とジオのつながりの解説 | |
| 五浦地域の散策 | 面白い逸話, 余裕あるタイムスケジュール | |
| 勿来の関 | ジオツアーのサイトには不適, 外国 | |

| | | |
|----|---|---|
| | 人に対する解説の工夫, 地質と歴史のつながりに関する分かりやすい解説 | <ul style="list-style-type: none"> ・ジオと各サイトや素材をつなぐテーマ性 ・対象者別のメニュー作り |
| 全体 | ツアー対象年齢の設定, 通訳なしでも分かる英語・中国語・韓国語などの多言語情報が必要, 海岸のゴミが殺風景 | <ul style="list-style-type: none"> ・外国人が独りでも移動しジオを楽しむことができる多言語ガイドシステム ・ジオサイトの美化 |

(4) クロス分析

【地質や地形に関する学問を学んだ経験】ならびに【地質や地形に対する関心度】と【サイトの「関心度」】，【地質や地形に関する学問を学んだ経験】ならびに【地質や地形に対する関心度】と【ツアー全体の評価】の関係性については，経験が「ない人」，関心が「ない人」でもジオサイト（勿来の関を除く）に関心を示し，ツアーに満足することが分かり，ジオツアーに対して一般のターゲットの可能性が示唆された。

【地質や地形に関する学問を学んだ経験】 × 【各サイトの「関心度」】

| いわき市アンモナイトセンター | 『関心なし』 | どちらでもない | 『関心あり』 | 合計（人） |
|-----------------|--------|---------|--------|-------|
| 経験「あり」 | 1 | 1 | 2 | 4 |
| 経験「なし」 | 0 | 1 | 4 | 5 |
| いわき市石炭・化石館-ほるる- | 『関心なし』 | どちらでもない | 『関心あり』 | 合計（人） |
| 経験「あり」 | 1 | 1 | 2 | 4 |
| 経験「なし」 | 0 | 0 | 5 | 5 |
| 五浦観光ホテル別館大観荘 | 『関心なし』 | どちらでもない | 『関心あり』 | 合計（人） |
| 経験「あり」 | 1 | 0 | 3 | 4 |
| 経験「なし」 | 0 | 0 | 5 | 5 |
| 五浦地域の散策 | 『関心なし』 | どちらでもない | 『関心あり』 | 合計（人） |
| 経験「あり」 | 1 | 0 | 3 | 4 |
| 経験「なし」 | 0 | 0 | 5 | 5 |
| 勿来の関 | 『関心なし』 | どちらでもない | 『関心あり』 | 合計（人） |
| 経験「あり」 | 2 | 1 | 1 | 4 |
| 経験「なし」 | 1 | 4 | 0 | 5 |

【地質や地形に関する学問を学んだ経験】 × 【ツアー全体の評価】

| | 『不満』 | どちらでもない | 『満足』 | 合計（人） |
|--------|------|---------|------|-------|
| 経験「あり」 | 0 | 0 | 4 | 4 |
| 経験「なし」 | 0 | 0 | 5 | 5 |

【地質や地形に対する関心】 × 【各サイトの「関心度」】

| | | | | |
|-----------------|--------|---------|--------|--------|
| いわき市アンモナイトセンター | 『関心なし』 | どちらでもない | 『関心あり』 | 合計 (人) |
| 地質や地形に対する『関心あり』 | 1 | 2 | 4 | 7 |
| 地質や地形に対する『関心なし』 | 0 | 0 | 2 | 2 |
| いわき市石炭・化石館一ほるるー | 『関心なし』 | どちらでもない | 『関心あり』 | 合計 (人) |
| 地質や地形に対する『関心あり』 | 1 | 1 | 5 | 7 |
| 地質や地形に対する『関心なし』 | 0 | 0 | 2 | 2 |
| 五浦観光ホテル別館大観荘 | 『関心なし』 | どちらでもない | 『関心あり』 | 合計 (人) |
| 地質や地形に対する『関心あり』 | 1 | 0 | 6 | 7 |
| 地質や地形に対する『関心なし』 | 0 | 0 | 2 | 2 |
| 五浦地域の散策 | 『関心なし』 | どちらでもない | 『関心あり』 | 合計 (人) |
| 地質や地形に対する『関心あり』 | 1 | 0 | 6 | 7 |
| 地質や地形に対する『関心なし』 | 0 | 0 | 2 | 2 |
| 勿来の関 | 『関心なし』 | どちらでもない | 『関心あり』 | 合計 (人) |
| 地質や地形に対する『関心あり』 | 2 | 4 | 1 | 7 |
| 地質や地形に対する『関心なし』 | 1 | 1 | 0 | 2 |

【地質や地形に対する関心】 × 【ツアー全体の評価】

| | | | | |
|-----------------|------|---------|------|--------|
| | 『不満』 | どちらでもない | 『満足』 | 合計 (人) |
| 地質や地形に対する『関心あり』 | 0 | 0 | 7 | 7 |
| 地質や地形に対する『関心なし』 | 0 | 0 | 2 | 2 |

(5) 今後の意向

【類似のジオツアーへの参加の意向】については、7人が『参加したい』と答えており、ジオツアーに参加し満足を得られれば、リピーターになる可能性がある。

【今回のツアーの適当な値段】については、「20,000円～30,000円」と回答する人が比較的多く、1泊2日の旅行料金としては一般的な価格帯と言える。

【今回のツアーガイドの適当な値段】については、「5,000円～10,000円」と回答する人が比較的多く、国内のボランティアガイド料金に比べて高額評価である。

【ジオツアーの案内の入手方法として適切と思われる情報媒体】については、最も回答の多い「旅行代理店のチラシ、パンフレット」は、旅行や観光に関心が高い人への周知効果が高いメリットがあるが、旅行代理店と連携した商品化が必要となる。一方、インターネットや携帯電話、ツイッター等は比較的手軽に、かつ、世界中の多くの人に情報を発信できるメリットがある。

3.2.4 ジオパークガイドの効果と可能性

モニターツアーでは、ジオパークガイドが外国人ツアー客のジオ資源に対する関心を高め、理解を促す効果があることが確認できた。

通訳については、外国人が内容を理解し満足するために非常に重要な役割を果たすことがあらためて確認できた。

また、通訳ガイドの求められる能力としては、ジオに対する基礎知識、他国のジオパークに関する知識、限られた時間内で楽しく分かりやすく説明するスキル、などがあげられる。

今後、国内のジオパークにおいて、外国人ツアー客が増加すれば、このような人材がますます求められるので、ジオツアー通訳ガイドの養成が必要である。

さらに、お客様が安心してジオツアー通訳ガイドサービスを利用でき、地域のビジネスとして成り立つためには、ジオパーク資格制度などによるサービスの品質保証が必要である。

3.2.5 効果的なジオツアーの方法

外国人ツアー客にとって、大地の成り立ち・自然・風土・暮らしなどを見る・体験する・学ぶ・食べる・泊るというジオツアーは、日本を理解・体験する行為そのものであり、そのような観点にたったツアーの組み立てが重要である。

外国人ツアー客の関心を高める手法としては、全地球的観点から見た日本のジオパークの成り立ちや、ジオ資源と母国とのつながりなど体感できる内容が有効である。

外国人ツアー客のジオに対する理解を高める手法としては、多言語によるジオツアー解説ツールを充実させることが有効である。

3.2.6 まとめと課題の整理

【まとめ】

- ①外国人ツアー客の関心は多様で、「ジオサイトを巡りながら、大地の成り立ちと歴史・文化・暮らしとのつながりを感じる旅行」とも言えるジオツアーにも関心を示し、旅行ニーズがあると考えられる。
- ②地質や地形に関する学問を学んだ経験が「ない人」、地質や地形に対する関心が「ない人」でもジオサイトに関心を示し、ツアーに満足することが分かり、ジオツアーに対して一般のターゲットの可能性が示唆された。
- ③外国人ツアー客は、地域のジオツアーに潜在ニーズを持ち、また、ジオツアーに参加し満足を得られれば、リピーターになる可能性がある。
- ④外国人ツアー客は、ジオと自然・風土の組み合わせに関心を示し、さらに、外国人はジオと母国とのつながりにより関心を高めることが分かった。
- ⑤ジオガイドは、外国人を含む観光客のジオ資源に対する関心を高め、理解を促す効果があることが分かった。
- ⑥外国人ツアー客は、“ここにしかないジオの要素”に関心を示すが、外国人が理解と満足を得るには、多言語での分かりやすい情報提供が必要不可欠である。
- ⑦ジオに関する基礎知識がない通訳は、ジオの詳しい内容を説明しきれない部分があるため、今後、通訳ができ、かつ、ジオの知識を有する国際的なジオガイドの養成が必要である。

【課題】

- ①多言語によるジオツアー解説の充実
- ②外国人ツアーの満足度の向上
- ③外国人ツアー客の受け入れ環境の整備
- ④外国人ジオツアーのプロモーション